

○広島国際大学心理科学部履修規定

2001年2月27日

広学内042

改正 2014年2月7日

第1章 総則

(趣旨)

第1条 この規定は、広島国際大学心理科学部の授業科目の履修方法等について定める。

(授業科目の分類、配当年次・学期および時間数)

第2条 授業科目の分類は、卒業要件との関連で必修科目および選択科目とする。

2 開設する授業科目の分類、配当年次・学期および時間数は、別表第1のとおりとする。

(履修方法)

第3条 授業科目は、学科別に定めるところにより履修しなければならない。

(他大学および他学部等における授業科目の履修ならびにその取扱い)

第4条 教育上有益と認めるときは、他大学(外国の大学を含む)との協議に基づき、学長は、学生に当該他大学の授業科目を履修させることができる。

2 短期大学または高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修(平成3年度文部省告示第68号に定めるもの)を教育上有益と認めるときは、本大学における授業科目の履修とみなすことができる。

3 前2項の規定により修得した単位については、学部長は教授会の議に基づき、30単位を限度として卒業の要件として認めることができる。

4 教育上有益と認めるときは、学部間の協議に基づき、学長(他の学科については学部長)は、学生に他学部および他学科の科目を履修させることができる。修得した単位については、10単位を限度として卒業に必要な単位として認めることができる。

(卒業に必要な単位数)

第5条 卒業に必要な単位数は、学科別に次表のとおりとする。

学部				心理科学部					
学科				臨床心理学科			コミュニケーション心理学科		
科目区分				必修	選択		必修	選択	
共通 教育 科目	教養 科目	国際	国際社会の理解	—	2	6*1	—	2	8*1
		学際	人間と思想・文化	—	4		—	4	
			人間と現代社会	—			—		
			人間と科学・技術	—			—		
基礎 教育 科目	共通 基礎	人文科学	2	2		2	2		
		社会科学	—	4		—	2		

	自然科学	2	2	2	2
	情報処理	2	—	2	—
	外国語	6	—	6	—
	保健体育	1	1	1	1
	特講	2	—	2	—
	計	15	21	15	21
		36単位以上		36単位以上	
専門教育科目	専門基礎科目	5	43 ^{*2}	7	51
	専門科目	30		20	
	社会科・公民科科目 ^{**}	—	—	—	—
	計	35	43	27	51
		78単位以上		78単位以上	
その他(所属学部の共通教育科目、所属学科の専門教育科目、他学科の専門教育科目および他学部の科目等)		10 ^{*3}		10 ^{*2}	
卒業必要単位数		50	64	42	72
		10 ^{*3}		10 ^{*2}	
		124単位以上		124単位以上	

臨床心理学科

- *1：各科目区分の卒業要件のほか、選択科目から6単位以上取得すること。
- *2：「臨床心理学の現場(医療・福祉)(2単位)」、「臨床心理学の現場(教育・発達)(2単位)」および「臨床心理学の現場(産業・社会)(2単位)」のうちいずれか1科目2単位を含むこと。
- *3：所属学部の共通教育科目、所属学科の専門教育科目(社会科・公民科科目を含む)、他学科の専門教育科目、他学部の科目および教職課程の科目「教職概論」、「教育制度論」、「平和教育」から10単位以上を取得すること。
- *4：臨床心理学科における教育職員免許状取得のために必要な科目を示す。

コミュニケーション心理学科

- *1：各科目区分の卒業要件のほか、選択科目から8単位以上を取得すること。
- *2：所属学部の共通教育科目、所属学科の専門教育科目、他学科の専門教育科目および他学部の科目から10単位以上を取得すること。

第2章 履修申請

(履修許可)

第6条 学生は、その年度に履修しようとする授業科目を履修申請書により学部長に申請して許可を得なけ

ればならない。

(履修申請)

第7条 履修申請書は、毎年学部長が定める期間および申請要領に従って、提出しなければならない。

- 2 正当な理由がなく、所定の期間内に履修申請書を提出しない者は、履修を許可しない。
- 3 以下の授業科目を履修するためには、つぎの履修要件を充足していなければ、履修を許可しない。ただし、学修状況等を勘案し、履修の必要があると学部長が認めた場合は、この限りでない。

学科	授業科目	履修要件
臨床心理学科	臨床心理学演習Ⅰ	卒業に必要な単位数の内から50単位以上修得
	臨床心理学演習Ⅱ	
コミュニケーション心理学科	コミュニケーション心理学演習Ⅰ	
	コミュニケーション心理学演習Ⅱ	

- 4 既に合格または単位を認定した授業科目を再度履修することはできない。
- 5 原則として、同時限に重複して履修することはできない。

(履修単位の上限)

第7条の2 1年間に履修申請できる単位数は、48単位以内とする。ただし、留学生特例科目および卒業に必要な単位数に含まれない科目(教科、教職に関する科目を含む)を除く。

- 2 所定の単位数を優れた成績をもって修得した学生については、前項に定める上限を超えて履修科目の登録を認めることができる。
- 3 第1項にかかわらず、編入学した者および学部長が特に許可した者はこの限りでない。

(履修申請科目の変更等)

第8条 履修申請書の提出後は、授業時間割の変更の場合を除いて、原則として追加、訂正および変更を認めない。

(履修許可の取消し)

第9条 履修許可後においてこの規定および履修申請要領等に違反して申請していることが判明したときは、当該科目の履修許可を取り消す。

(履修辞退)

第9条の2 学生から履修辞退の申し出があった場合、教育的効果を考慮してこれを認めることがある。

- 2 履修辞退の手続方法、その他必要な事項は学部長が別に定める。

第3章 教職課程

(教育職員免許状の種類および免許教科)

第10条 学則第29条の2に定める教育職員免許状の種類および免許教科は、つぎのとおりとする。

学科	免許状の種類	免許教科
臨床心理学科	中学校教諭一種免許状	社会
	高等学校教諭一種免許状	公民

コミュニケーション心理学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	英語
---------------	---------------------------	----

(基礎資格および最低修得単位)

第11条 中学校教諭一種免許状(以下「中一種免」という)または高等学校教諭一種免許状(以下「高一種免」という)を取得するためには、基礎資格として、学士の学位を有し、かつ、別表第3に定める教育職員免許状取得のために必要な科目を履修し、単位を修得しなければならない。

(履修申請)

第12条 前条の単位修得のためには、第7条に定める履修申請書のほか、教育実習を履修するためには、別に定める申請要領に従って、教育実習申請書を学部事務室を経て学部長に提出し、その許可を受けなければならない。

(教育職員免許状出願手続)

第13条 第11条に定める単位を修得した学生は、別に定める期間および出願要領に従ってつぎの各号に掲げる書類に手数料を添えて、学部事務室を経て教務課に提出し、免許状の交付事務を依頼することができる。

- イ 教育職員免許状授与申請願
- ロ 教育職員免許状授与願・宣誓書・履歴書

第4章 成績評価および試験

(成績評価等)

第14条 成績の評価は学則第26条に定めるところにより、試験のほか、学生の日常の学修状況等を勘案して行う。

2 成績はS・A・B・C・D・E・*の7種の評語をもって表し、その評価基準はつぎのとおりとする。また、それぞれのグレードポイント(以下「GP」という)はつぎのとおりとする。ただし、再試験で合格の場合はすべてCの評語とする。

- 「S」 : 100～90点(GP : 4)
- 「A」 : 89～80点(GP : 3)
- 「B」 : 79～70点(GP : 2)
- 「C」 : 69～60点(GP : 1)
- 「D」 : 59～30点(GP : 0)
- 「E」 : 29～0点(GP : 0)
- 「*」 : 評価不能

- 3 成績評価S、A、B、Cを合格とし、所定の単位を与える。
- 4 編入学等で単位認定を受けた授業科目は、「認」と表示する。また、再入学および転学部等で単位を認定した科目の評価は、学部長が別に定める。
- 5 単に合格または不合格をもって示す授業科目は、当該科目が合格の場合は「G」、不合格の場合は「F」と表示する。
- 6 第2項の成績評価による学業結果を有効利用するために、グレードポイントアベレージ(以下「GPA」という)を用いる。
- 7 前項に定めるGPAは、各履修科目の単位数にGPを乗じた積の合計を、総履修単位数で除して算出する。
- 8 つぎの授業科目は、GPAの計算対象としない。

- イ 卒業要件に含むことができない授業科目
- ロ 評価を「認」、「G」、「F」で表示する授業科目
- ハ 履修辞退した授業科目(ただし、再履修した授業科目を辞退した場合は、既に評価された成績をもって計算対象とする)
- ニ その他別に定める授業科目

(試験の方法等)

第15条 試験は、履修許可を得た科目についてのみ受けることができるものとする。

- 2 試験は、当該科目の授業期間中に担当教員が随時行うものとする。
- 3 試験の方法は、筆記、口頭試問および実技のいずれかまたは組合せによる。
- 4 教育上必要な場合は、追試験および再試験を実施することがある。
- 5 追試験は、病気その他やむを得ない理由により受験できなかった者に対して行う試験をいう。
- 6 再試験は、日常の学修状況が良好であるにもかかわらず、成績が合格点に達しなかった者に対して行う試験をいう。ただし、実験・実習・演習科目は除く。

(追試験および再試験の申請ならびに許可)

第16条 前条第5項の追試験を受けようとする者は、当該科目の試験終了日の翌日から起算して3日以内に、その理由を証明する書類を添えて受験不能届兼追試験願書を学部長に提出して許可を得なければならない。

- 2 再試験が受けられる授業科目数は、学部長が別に定める。
- 3 追試験および再試験の申請要領ならびに実施要領は、学部長が別に定める。

第5章 1年間の授業期間および授業時間

(1年間の授業期間)

第17条 1年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、35週にわたることを原則とする。

(授業出席の義務)

第18条 学生は、履修許可を受けたすべての授業に出席し、遅刻、欠席等のないよう努めなければならない。

(授業時間)

第19条 授業は、2時間を1時限として、つぎのとおりとする。

1時限	2時限	3時限	4時限	5時限
9:00~10:30	10:40~12:10	13:00~14:30	14:40~16:10	16:20~17:50

第6章 卒業研究

(卒業研究着手の要件)

第20条 第4年次に担当した授業科目のうち、「卒業研究Ⅰ」または「卒業研究Ⅱ」を履修するためには、つぎの要件を充足していなければならない。

- イ 臨床心理学科

共通教育科目	必修科目15単位および各系で必要な選択科目を含め、27単位以上修得
専門教育科目	必修科目の内から「臨床心理学演習Ⅱ」を含む19単位以上および選択科目を含め、計60単位以上修得

ロ コミュニケーション心理学科

共通教育科目	必修科目15単位および各科目区分で必要な選択科目を含め、27単位以上修得
専門教育科目	必修科目の内から「コミュニケーション心理学演習Ⅱ」を含む13単位以上および選択科目を含め、計60単位以上修得

2 前項にかかわらず、学部長が特に認めた者はこの限りでない。

第7章 雑則

(その他)

第21条 この規定に定めるもののほか、授業科目の履修等に関して必要な事項は、学部長が定める。

(規定の改廃)

第22条 この規定の改廃は、学部長会議および教授会の議を経て、学長が行う。

付 則

- 1 この規定は、2001年4月1日から施行する。
- 2 この改正規定は、2014年4月1日から施行する。
- 3 2013年度以前の入学者の履修については、なお従前の例による。
- 4 この改正規定は、2009年4月1日から学内規定に編入する。

別表第1 開設する授業科目の分類、配当年次・学期および時間数

別表第2

先修科目

- 1 次表A欄の科目を履修するためには、B欄に掲げる授業科目の単位を前もって修得していなければならない。

[臨床心理学科]

A 欄	B 欄
臨床心理学基礎実習	心理学実習Ⅰ 臨床心理学 臨床心理学と倫理 心理アセスメント実習Ⅰ

- 2 次表A欄の科目を履修するためには、B欄に掲げる授業科目の単位を前もって修得しているか、または同時に履修しなければならない。

[臨床心理学科]

A 欄	B 欄
-----	-----

臨床心理学実習	臨床心理学基礎実習
---------	-----------

別表第3

教育職員免許状取得のために必要な科目

1 教科に関する科目

(1) 社会(中学校教諭一種免許状)

臨床心理学科

教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数		左記科目に対する本大学での科目等				
科目	最低修得単位数	授業科目	単位数	履修年次	時間数	
					前期	後期
日本史及び外国史	1	歴史学	②	1	(30)	(30)
		日本史概論	②	2・3	(30)	(30)
		西洋史概論	②	2・3	(30)	(30)
地理学(地誌を含む。)	1	地理学	②	2・3	(30)	(30)
「法律学、政治学」	1	法律学概論	②	2・3	(30)	(30)
		政治学概論	②	2・3	(30)	(30)
		国際関係論	2	2・3	(30)	(30)
「社会学、経済学」	1	社会学	②	1	(30)	(30)
		経済学	②	1	(30)	(30)
「哲学、倫理学、宗教学」	1	哲学概論	②	2・3	(30)	(30)
		倫理学概論	2	2・3	(30)	(30)
最低修得単位数合計	20	最低修得単位数合計	中一種免 20単位			

注

- 1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目。
 - 2 時間数を()で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。
 - 3 教科に関する科目において、教育職員免許法施行規則に定める最低修得単位数(20単位)を超えて修得した単位数は、「教科又は教職に関する科目」に充当する。
 - 4 「歴史学」は東洋史を含む。「地理学」は地誌を含む。
- (2) 公民(高等学校教諭一種免許状)

臨床心理学科

教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数		左記科目に対する本大学での科目等				
科目	最低修得単位数	授業科目	単位数	履修年次	時間数	
					前期	後期
「法律学(国際法を含む。)、政治学(国際政治を含む。)」	1	法律学概論	②	2・3	(30)	(30)
		政治学概論	②	2・3	(30)	(30)
		国際関係論	2	2・3	(30)	(30)
「社会学、経済学(国際経済を含む。)」	1	社会学	②	1	(30)	(30)
		経済学	②	1	(30)	(30)
「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	1	哲学概論	②	2・3	(30)	(30)
		倫理学概論	2	2・3	(30)	(30)
		心理学概論Ⅰ	②	1・2	(30)	(30)
		心理学概論Ⅱ	②	1・2	(30)	(30)
		人格心理学	2	2・3	(30)	(30)
		臨床心理学	②	2・3	(30)	(30)
最低修得単位数合計	20	最低修得単位数合計	高一種免 20単位			

注

- 1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目。
 - 2 時間数を()で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。
 - 3 教科に関する科目において、教育職員免許法施行規則に定める最低修得単位数(20単位)を超えて修得した単位数は、「教科又は教職に関する科目」に充当する。
 - 4 「法律学概論」は国際法を含む。「政治学概論」は国際政治を含む。「経済学」は国際経済を含む。
- (3) 英語(中学校教諭一種免許状・高等学校教諭一種免許状)

コミュニケーション心理学科

教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数		左記科目に対する本大学での科目等				
科目	最低修得単位数	授業科目	単位数	履修年次	時間数	
					前期	後期
英語学	1	英語学Ⅰ	②	2	(30)	(30)

		英語学Ⅱ	②	2	(30)	(30)
英米文学	1	イギリス文学	②	2	(30)	(30)
		アメリカ文学	②	2	(30)	(30)
		イギリス文学特殊講義	2	3・4	(30)	(30)
		アメリカ文学特殊講義	2	4	(30)	(30)
英語コミュニケーション	1	英語Ⅱa	①	1	30	
		英語Ⅱb	①	1		30
		英語Ⅲa	①	2	30	
		英語Ⅲb	①	2		30
		メディア・イングリッシュ	2	3・4	(30)	(30)
		ビジネス・イングリッシュ	2	3・4	(30)	(30)
		英語文書作成	2	3・4	(30)	(30)
		パブリック・スピーキングⅠ	2	3・4	(30)	(30)
		パブリック・スピーキングⅡ	2	4	(30)	(30)
		海外英語実習	2	2	(60)	(60)
異文化理解	1	異文化間コミュニケーション論	②	3・4	(30)	(30)
		イギリス文化論	2	1	(30)	(30)
		アメリカ文化論	2	1	(30)	(30)
最低修得単位数合計	20	最低修得単位数合計	中一種免 20単位 高一種免 20単位			

注

- 1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目
 - 2 時間数を()で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。
 - 3 教科に関する科目において、教育職員免許法施行規則に定める最低修得単位数(20単位)を超えて修得した単位数は、「教科又は教職に関する科目」に充当する。
- 2 教職に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数			左記科目に対する本大学での科目等			
科目	各科目に含める必要事項	最低修得単位数	授業科目	単位数	履修年次	時間等

		中一 種免	高一 種免				前期	後期
教職の意義等に関する科目	<ul style="list-style-type: none"> ・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容(研修、服務及び身分保障等を含む。) ・進路選択に資する各種の機会の提供等 	2	2	教職概論	②	1	(30)	(30)
教育の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	6	教育原理	②	1	(30)	(30)
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)			発達心理学	2	P 2・3 L 1・2	(30)	(30)
				学校教育心理学	②	2・3	(30)	(30)
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項			教育制度論	②	2	(30)	(30)
教育課程及び指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法	12	6	教育課程論	②	2	(30)	(30)
	・各教科の指導法			英語科教育法Ⅰ	2	3・4	(30)	(30)
				英語科教育法Ⅱ	2	3・4	(30)	(30)
				英語科教育法Ⅲ	2	3・4	(30)	(30)
				英語科教育法Ⅳ	2	3・4	(30)	(30)
				社会科・公民科教育法Ⅰ	2	3・4	(30)	(30)
				社会科・公民科教育法Ⅱ	2	3・4	(30)	(30)
				社会科教育法Ⅲ	2	3・4	(30)	(30)
				社会科教育法Ⅳ	2	3・4	(30)	(30)
	・道徳の指導法			道徳教育指導法	2	2	(30)	(30)
	・特別活動の指導法			特別活動論	②	3	(30)	(30)
・教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法論	②	2	(30)	(30)			
生徒指導教育	・生徒指導の理論及び方法	4	4	生徒・進路指導論	②	2・3	(30)	(30)

相談及び進路指導等に関する科目 ・進路指導の理論及び方法 ・教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法			教育相談	②	P 2・3 L 3・4	(30)	(30)
			学校カウンセリング	2	2・3	(30)	(30)
	教育実習	5	3	教育実習Ⅰ	①	3	
			教育実習Ⅱ	2	4	—	—
			教育実習Ⅲ	4	4	—	—
教職実践演習	2	2	教職実践演習(中・高)	②	4		30
最低修得単位数合計	中一種免 3 1 高一種免 2 3	最低修得単位数合計	中一種免 31単位 高一種免 23単位				

注

- 1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目
 - 2 時間数を()で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。
 - 3 各教科の指導法は、取得しようとする免許教科の教育法を必ず履修し、中一種免8単位、高一種免4単位以上を修得しなければならない。ただし、免許教科「英語」を取得しようとする者は「英語科教育法Ⅱ」および「英語科教育法Ⅳ」、免許教科「公民」を取得しようとする者は「社会科・公民科教育法Ⅰ」および「社会科・公民科教育法Ⅱ」を必ず履修し、単位を修得しなければならない。
 - 4 中一種免を取得しようとする者は、「道徳教育指導法」を必ず履修し、単位を修得しなければならない。なお、高一種免を取得しようとする者が「道徳教育指導法」を修得した場合は、その単位数を「教科又は教職に関する科目」の単位とする。
 - 5 教育実習は、中一種免については「教育実習Ⅰ」および「教育実習Ⅲ」、高一種免については「教育実習Ⅰ」および「教育実習Ⅱ」を必ず履修し、単位を修得しなければならない。
 - 6 教職に関する科目について、教育職員免許法施行規則に定める最低修得単位数(中一種免31単位、高一種免23単位)を超えて修得した単位数は、「教科又は教職に関する科目」に充当する。
 - 7 略号Pは臨床心理学科を示し、略号Lはコミュニケーション心理学科を示す。
- 3 教科又は教職に関する科目
- (1) 中学校教諭一種免許状

教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数	左記科目に対する本大学での科目等			
科目	授業科目	単位数	履修年次	時間数

				前期	後期
教科又は教職に関する科目	社会福祉学	②	2・3	(30)	(30)
	介護等体験指導	②	3	(30)	(30)
	人権と現代福祉	2	2	(30)	(30)
	平和教育	2	2	(30)	(30)
	ノンバーバル・コミュニケーション論	2	2	(30)	(30)
	セルフ・プレゼンテーション演習Ⅰ	2	3・4	(30)	(30)
	セルフ・プレゼンテーション演習Ⅱ	2	3・4	(30)	(30)
	地域支援実習	1	1	(45)	(45)
	障害児(者)心理学	2	3・4	(30)	(30)
最低修得単位数合計	中一種免 8単位	最低修得単位数合計	中一種免 8単位		

注

- 1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目
 - 2 時間数を()で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。
- (2) 高等学校教諭一種免許状

教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数	左記科目に対する本大学での科目等					
	科目	授業科目	単位数	履修年次	時間数	
					前期	後期
教科又は教職に関する科目	社会福祉学		2	2・3	(30)	(30)
	人権と現代福祉		2	2	(30)	(30)
	平和教育		2	2	(30)	(30)
	ノンバーバル・コミュニケーション論		2	2	(30)	(30)
	セルフ・プレゼンテーション演習Ⅰ		2	3・4	(30)	(30)
	セルフ・プレゼンテーション演習Ⅱ		2	3・4	(30)	(30)

		地域支援実習	1	1	(45)	(45)
		障害児(者)心理学	2	3・4	(30)	(30)
		道徳教育指導法	2	2	(30)	(30)
最低修得 単位数合 計	高一種免 16単位	最低修得単位数合計	高一種免 16単位			

注

時間数を()で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。

4 その他教育職員免許法施行規則で定める科目

科目	授業科目	単位数	履修年次	時間数	
				前期	後期
				教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数	左記科目に対する本大学での科目等
日本国憲法	法学	②	1	(30)	(30)
体育	スポーツⅠ	①	1	(15)	(15)
	スポーツⅡ	1	1	(30)	(30)
	スポーツⅢ	1	1	(30)	(30)
外国語コミュニケーション	英語Ⅰa	①	1	30	
	英語Ⅰb	①	1		30
情報機器の操作	情報処理Ⅰa	①	1	30	
	情報処理Ⅰb	①	1		30

注

- 1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目
- 2 時間数を()で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。
- 3 「スポーツⅡ(1単位)」または「スポーツⅢ(1単位)」のうち、いずれか1科目1単位を取得すること。
- 4 「法学」は憲法を含む。

別表第1 開設する授業科目の分類、配当年次・学期および時間数

1 共通教育科目

注1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目

注2 時間数を()で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。
教養科目は1年次または2年次で開講する。

科目区分		授業科目	単位数	配当年次・学期・時間数								備考				
				1年次		2年次		3年次		4年次						
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期					
教養科目	国際	国際社会の理解Ⅰ	2		(30)	(30)	(30)									
		国際社会の理解Ⅱ	2		(30)	(30)	(30)									
		国際社会の理解Ⅲ	2		(30)	(30)	(30)									
	学際	人間と文化	人間と思想・文化Ⅰ	2		(30)	(30)	(30)								
			人間と思想・文化Ⅱ	2		(30)	(30)	(30)								
			人間と思想・文化Ⅲ	2		(30)	(30)	(30)								
		人間と現代社会	人間と現代社会Ⅰ	2		(30)	(30)	(30)								
			人間と現代社会Ⅱ	2		(30)	(30)	(30)								
			人間と現代社会Ⅲ	2		(30)	(30)	(30)								
		人間と科学・技術	人間と科学・技術Ⅰ	2		(30)	(30)	(30)								
			人間と科学・技術Ⅱ	2		(30)	(30)	(30)								
			人間と科学・技術Ⅲ	2		(30)	(30)	(30)								
		基礎教育科目	人文科学	哲学	2	(30)	(30)									
				文学	2	(30)	(30)									
倫理学	2			(30)	(30)											
心理学	②			(30)	(30)											
日本語表現法	2			(30)	(30)											
芸術学	2			(30)	(30)											
文化人類学	2			(30)	(30)											
コミュニケーション論	2			(30)	(30)											
社会科学	法学		2	(30)	(30)											
	経済学		2	(30)	(30)											
	社会学		2	(30)	(30)											
	歴史学		2	(30)	(30)											
	政治学		2	(30)	(30)											
	教育学		2	(30)	(30)											
	統計学		②	(30)	(30)											
自然科学	数学		2	(30)	(30)											
	物理学		2	(30)	(30)											
	物理学実験		1	(45)	(45)											
	化学		2	(30)	(30)											
	化学実験		1	(45)	(45)											
	生物学		2	(30)	(30)											
	生物学実験		1	(45)	(45)											
情報処理	情報処理Ⅰa		①	(30)	(30)											
	情報処理Ⅰb		①	(30)	(30)											
	情報処理Ⅲ		1			(30)	(30)	(30)	(30)							
	情報処理Ⅳ		1			(30)	(30)	(30)	(30)							
	情報処理Ⅴ		1			(30)	(30)	(30)	(30)							
	情報処理Ⅵ		1			(30)	(30)	(30)	(30)							
	情報倫理	1	(15)	(15)												
外国語	英語Ⅰa	①	30													
	英語Ⅰb	①		30												
	英語Ⅱa	①	30													
	英語Ⅱb	①		30												
	英語Ⅲa	①			30											
	英語Ⅲb	①				30										
	ドイツ語a	1	30													
	ドイツ語b	1		30												

	中国語a	1	30								
	中国語b	1		30							
	韓国語a	1	30								
	韓国語b	1		30							
保体 健育	スポーツI	①	(15)	(15)							
	スポーツII	1	(30)	(30)							
	スポーツIII	1	(30)	(30)							
特講	基礎ゼミナール	①	30								
	キャリア開発演習I	①		30							
	キャリア開発演習II	1			(30)	(30)	(30)	(30)			
	キャリア開発演習III	1			(30)	(30)	(30)	(30)			
	Global Communication	2			(30)	(30)					

【留学生特例科目】

科目区分	授業科目	単位数	配当年次・学期・時間数								備考	
			1年次		2年次		3年次		4年次			
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
基礎 教育 科目	共通 基礎 社会 学	日本事情I	2	30								
		日本事情II	2		30							
	外国 語	日本語Ia	2	30								
		日本語Ib	2		30							
		日本語II	2			30						

〔注〕 留学生特例科目において修得した単位は、学部および学科で履修すべき単位数のうち、次に掲げるもので代えることができる。ただし、その履修に関しては学部または学科の指示に従うものとする。

- 1 共通教育科目の共通基礎社会科学の2単位までを「日本事情I」の単位数
- 2 共通教育科目の外国語の6単位までを「日本語Ia」、「日本語Ib」および「日本語II」の単位数

2 専門教育科目

イ 臨床心理学科

注1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目

2 時間数を()で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。

科目区分	授業科目	単位数	配当年次・学期・時間数								備考		
			1年次		2年次		3年次		4年次				
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
専門基礎科目	チュートリアル	①	(30)	(30)									
	神経科学	2			(30)	(30)	(30)	(30)					
	社会福祉学	2			(30)	(30)	(30)	(30)					
	心理学概論Ⅰ	②	(30)	(30)	(30)	(30)							
	心理学概論Ⅱ	②	(30)	(30)	(30)	(30)							
専門科目	心理学基礎系	学習心理学	2			(30)	(30)	(30)	(30)				
		認知心理学	2			(30)	(30)	(30)	(30)				
		生理心理学	2			(30)	(30)	(30)	(30)				
		コミュニティ心理学	2			(30)	(30)	(30)	(30)				
		感覚知覚心理学	2	(30)	(30)	(30)	(30)						
		人格心理学	2			(30)	(30)	(30)	(30)				
		心理学実習Ⅰ	②			(60)	(60)						
		心理学実習Ⅱ	1			(30)	(30)						
		心理学研究法Ⅰ	②			(30)	(30)	(30)	(30)				
		心理学研究法Ⅱ	2			(30)	(30)	(30)	(30)				
		心理統計学	②			(30)	(30)	(30)	(30)				
		色彩心理学	2	(30)	(30)	(30)	(30)						
		感情心理学	2					(30)	(30)	(30)	(30)		
		感性心理学	2					(30)	(30)				
	広告心理学	2					(30)	(30)					
	臨床心理学関連系	精神医学	2			(30)	(30)	(30)	(30)				
		心身医学	2			(30)	(30)	(30)	(30)				
		学校教育心理学	2			(30)	(30)	(30)	(30)				
		発達心理学	2			(30)	(30)	(30)	(30)				
		老年心理学	2			(30)	(30)	(30)	(30)				
健康心理学		2			(30)	(30)	(30)	(30)					
社会心理学		2			(30)	(30)	(30)	(30)					
産業心理学		2			(30)	(30)	(30)	(30)					
医療心理学		2	(30)	(30)	(30)	(30)							
臨床心理学		②			(30)	(30)							
臨床心理学専門系	心理療法論	②			(30)	(30)	(30)	(30)					
	力動的療法	②			(30)	(30)	(30)	(30)					
	人間学的心理療法	②			(30)	(30)	(30)	(30)					
	行動療法	②			(30)	(30)	(30)	(30)					
	臨床心理学と倫理	②			(30)	(30)							
	心理アセスメント概説	②			(30)	(30)	(30)	(30)					
	心理アセスメント実習Ⅰ	②			(60)	(60)							
	心理アセスメント実習Ⅱ	1					(30)	(30)					
	臨床心理学基礎実習	2					(60)	(60)					
	投映法	2			(30)	(30)	(30)	(30)					
	リハビリテーション医学	2	(30)	(30)	(30)	(30)							
	教育相談	2			(30)	(30)	(30)	(30)					
	学校カウンセリング	2			(30)	(30)	(30)	(30)					
	障害児(者)心理学	2					(30)	(30)	(30)	(30)			
	公衆衛生学	2			(30)	(30)	(30)	(30)					
	臨床心理学の現場(医療・福祉)	2					(30)	(30)	(30)	(30)			
臨床心理学の現場(教育・発達)	2					(30)	(30)	(30)	(30)				
臨床心理学の現場(産業・社会)	2					(30)	(30)	(30)	(30)				

関連科目	臨床心理学実習	2				(60)	(60)				
	外国書講読	2				(30)	(30)				
	質的データ解析法	2				(30)	(30)	(30)	(30)		
	社会調査法概論 I	2			(30)	(30)					
	社会調査法概論 II	2			(30)	(30)					
	社会調査法実習 I	1					(30)	(30)	(30)	(30)	
	社会調査法実習 II	1					(30)	(30)	(30)	(30)	
	多変量解析・同演習	3							(60)	(60)	
	地域支援実習	1	(45)	(45)							
	情報リテラシー演習	2			(30)	(30)					
	セルフ・プレゼンテーション演習 I	2					(30)	(30)	(30)	(30)	
	セルフ・プレゼンテーション演習 II	2					(30)	(30)	(30)	(30)	
	インターンシップ I	1			(45)	(45)					
	インターンシップ II	1			(45)	(45)					
社会科・公民科科目	臨床心理学演習 I	②				(60)	(60)				
	臨床心理学演習 II	②				(60)	(60)				
	卒業研究 I	②						(60)	(60)		
	卒業研究 II	②						(60)	(60)		
	日本史概論	2			(30)	(30)	(30)	(30)			
	西洋史概論	2			(30)	(30)	(30)	(30)			
	地理学	2			(30)	(30)	(30)	(30)			
	法律学概論	2			(30)	(30)	(30)	(30)			
	政治学概論	2			(30)	(30)	(30)	(30)			
	国際関係論	2			(30)	(30)	(30)	(30)			
哲学概論	2			(30)	(30)	(30)	(30)				
倫理学概論	2			(30)	(30)	(30)	(30)				

ロ コミュニケーション心理学科

注1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目

2 時間数を()で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。

科目区分	授業科目	単位数	配当年次・学期・時間数								備考	
			1年次		2年次		3年次		4年次			
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
専門基礎科目	チュートリアル	①	(30)	(30)								
	心理学概論Ⅰ	②	(30)	(30)	(30)	(30)						
	心理学概論Ⅱ	②	(30)	(30)	(30)	(30)						
	言語と社会	2			(30)	(30)						
	文化社会学	2			(30)	(30)						
	現代文化論	2			(30)	(30)						
	日本語コミュニケーション論	②			(30)	(30)						
	ノンバーバル・コミュニケーション論	2			(30)	(30)						
	対人コミュニケーション論	2			(30)	(30)						
	マス・コミュニケーション論	2			(30)	(30)						
	人間行動論	2					(30)	(30)	(30)	(30)		
	情報リテラシー演習	2			(30)	(30)						
	セルフ・プレゼンテーション演習Ⅰ	2					(30)	(30)	(30)	(30)		
	セルフ・プレゼンテーション演習Ⅱ	2					(30)	(30)	(30)	(30)		
専門科目	心理学基礎系	学習心理学	2			(30)	(30)	(30)	(30)			
		認知心理学	2			(30)	(30)	(30)	(30)			
		感覚知覚心理学	2	(30)	(30)	(30)	(30)					
		色彩心理学	2	(30)	(30)	(30)	(30)					
		感情心理学	2					(30)	(30)	(30)	(30)	
		生理心理学	2			(30)	(30)	(30)	(30)			
		神経科学	2			(30)	(30)	(30)	(30)			
		発達心理学	2	(30)	(30)	(30)	(30)					
		老年心理学	2			(30)	(30)	(30)	(30)			
		学校教育心理学	2			(30)	(30)	(30)	(30)			
		健康心理学	2			(30)	(30)	(30)	(30)			
		人格心理学	2			(30)	(30)	(30)	(30)			
		障害児(者)心理学	2					(30)	(30)	(30)	(30)	
		教育相談	2					(30)	(30)	(30)	(30)	
		社会心理学	2	(30)	(30)	(30)	(30)					
		コミュニティ心理学	2			(30)	(30)	(30)	(30)			
		心理学実習Ⅰ	②			(60)	(60)	(60)	(60)			
	心理学実習Ⅱ	1			(30)	(30)	(30)	(30)				
	心理学研究法Ⅰ	2			(30)	(30)	(30)	(30)				
	心理学研究法Ⅱ	2			(30)	(30)	(30)	(30)				
	医療心理学	2	(30)	(30)	(30)	(30)						
	ビジネス・心理系	ビジネス・コミュニケーション演習Ⅰ	②					(30)	(30)	(30)	(30)	
		ビジネス・コミュニケーション演習Ⅱ	2					(30)	(30)	(30)	(30)	
質的調査法		2					(30)	(30)	(30)	(30)		
社会調査法概論Ⅰ		②			(30)	(30)						
社会調査法概論Ⅱ		2			(30)	(30)						
地域コミュニケーション論		2					(30)	(30)	(30)	(30)		
ジャーナリズム論		2					(30)	(30)	(30)	(30)		
国際コミュニケーション論		2			(30)	(30)						
社会調査法実習Ⅰ		1					(30)	(30)	(30)	(30)		
社会調査法実習Ⅱ		1					(30)	(30)	(30)	(30)		
データ分析法	②			(30)	(30)							
心理統計学	2					(30)	(30)	(30)	(30)			

	多変量解析・同演習	3						(60)	(60)	
	異文化間コミュニケーション論	2				(30)	(30)	(30)	(30)	
	イギリス文化論	2	(30)	(30)						
	アメリカ文化論	2	(30)	(30)						
	英語学 I	②			(30)	(30)				
	英語学 II	②			(30)	(30)				
	イギリス文学	2			(30)	(30)				
	アメリカ文学	2			(30)	(30)				
	英語科教育法 I	2					(30)	(30)	(30)	(30)
	英語科教育法 II	2					(30)	(30)	(30)	(30)
	英語科教育法 III	2					(30)	(30)	(30)	(30)
	英語科教育法 IV	2					(30)	(30)	(30)	(30)
	メディア・イングリッシュ	2					(30)	(30)	(30)	(30)
	ビジネス・イングリッシュ	2					(30)	(30)	(30)	(30)
	英語文書作成	2					(30)	(30)	(30)	(30)
	パブリック・スピーキング I	2					(30)	(30)	(30)	(30)
	パブリック・スピーキング II	2							(30)	(30)
	イギリス文学特殊講義	2					(30)	(30)	(30)	(30)
	音声学	2			(30)	(30)				
	アメリカ文学特殊講義	2							(30)	(30)
	海外英語実習	2			(60)	(60)				
	コミュニケーションデザイン	2					(30)	(30)		
	現代デザイン論	2	(30)	(30)	(30)	(30)				
	ユニバーサルデザイン	2			(30)	(30)	(30)	(30)		
	広告心理学	2					(30)	(30)		
	グラフィックデザイン基礎実習	1			(45)	(45)				
	グラフィックデザイン応用実習	1			(45)	(45)				
	WEBデザイン論・同演習	3					(60)	(60)		
	創造心理開発論	2			(30)	(30)				
	感性心理学	2					(30)	(30)		
	感性人間工学	2			(30)	(30)				
	ビジュアルプレゼンテーション論	2			(30)	(30)				
	応用認知心理学演習	2					(30)	(30)	(30)	(30)
	メディアアート・同演習	3					(60)	(60)	(60)	(60)
	情報デザイン学演習	2					(30)	(30)		
関連科目	外国書講読	2					(30)	(30)	(30)	(30)
	日本語表現特論	2					(30)	(30)	(30)	(30)
	コミュニケーション心理学演習 I	②					(30)	(30)		
	コミュニケーション心理学演習 II	②					(30)	(30)		
	インターンシップ I	1			(45)	(45)				
	インターンシップ II	1			(45)	(45)				
	卒業研究 I	②							(60)	(60)
	卒業研究 II	②							(60)	(60)